

北九州市栄養管理報告書(学校・児童福祉施設・事業所・寄宿舍・矯正施設・自衛隊・
一般給食センター・その他(有料老人ホームを除く)) 記入要領

1	施設の種類	該当するものにチェック。
2	運営方法	該当するものにチェック。 委託とは、委託契約によるもので、一部委託も含む。 委託している場合は、委託先の名称を記入し、委託内容にチェック。 「その他」の場合は具体的な内容を記入。
3	管理栄養士の配置	該当するものにチェック。
4	一日あたりの給食数	報告月に提供した食事のうち、1日の合計数が最大の日の給食数を、年齢区分に分けて記入。職員食等は利用者と分けて記入。 ※検食・おやつは含みません。 ※提供時間に幅がある場合は○時○分～△時△分と記入。
5	定員	施設の定員を記入。
6	一人一日あたりの食材料費	報告月に提供した食事の一人一日あたりの食材料費を記入。 ※栄養補助食品等を含む。 ※消費税を含む。
7	栄養管理体制	該当するものにチェック。 ※見直しの頻度、再評価の間隔等については標準的な状況を回答。 【身体状況の評価について】 身体状況の把握は学校、児童福祉施設、事業所、寄宿舍のみ記入。 全対象者に対する割合を算出する。 ○成人・・・BMIを用いる。 ※ $BMI = \frac{\text{体重kg}}{\text{身長m}^2}$ ※BMI25.0を肥満、BMI18.5未満をやせとする。 ○幼児・・・幼児身長体重曲線を用いる。(3歳以上6歳未満) ※肥満度 = $(\text{実測体重kg} - \text{身長別標準体重kg}) \div \text{身長別標準体重kg} \times 100$ ※+15%を肥満、-15%をやせとする。 ○児童・生徒・・・学校保健統計調査方式を用いる。 ※肥満度(過体重度) = $(\text{実測体重kg} - \text{身長別標準体重kg}) \div \text{身長別標準体重kg} \times 100$ ※+20%を肥満、-20%をやせとする。
8	給与栄養目標量の設定	給与栄養目標量の種類、最新の設定年月日を記入。
9	献立	年間を通しての提供の有無をチェック。 ※すべての利用者に該当の献立を提供しない場合も「有」で記入。
10	テーマ献立	※疾病対応は内容を記入(生活習慣病、アレルギー等)。

11	適温給食の方法	該当するものすべてにチェック。 「その他」がある場合は具体的な内容を記入。
12	栄養素名	報告月に1番多く提供させている食種の名称を記入。 記入例:3歳以上食、3歳未満食、定食A等 給与栄養目標量は施設の献立作成基準に応じたもの、実施給与栄養量は <u>報告月における施設の状況(一人一日あたり)</u> を記入。
13	提供食品量	食品構成は施設の献立作成基準に応じたもの、純使用量は <u>報告月における総使用量から、廃棄量を減じたもの(一人一日あたり)</u> を記入。
14	実施献立の評価	該当するものにチェック。 2 集団全体の残食評価について記入。 4 喫食者(利用者)による献立や食事の評価について記入。
15	栄養管理に関する会議	栄養部門が所管している会議等を記入。 ※構成は該当する番号を記入。
16	栄養指導	栄養指導(集団・個別)は、 <u>報告月までの半年間の実施内容</u> を記入。
17	従事者への研修	<u>報告月までの半年間のうちに</u> 、施設内・施設外(委託会社主催を含む)で実施された研修会等に、栄養部門が参加した内容を記入。
18	栄養教育	該当するものにチェック。 ※栄養成分表示を行っている場合、該当するものに○を付ける。 ※その他情報提供を行っている場合、具体的な内容を記入。
19	特記事項	調査・研究・発表等、上記以外に実施している事項があれば記入。 地域住民を対象とした栄養教育活動や、食に関する取り組み(試食会、講演会等)を行っている場合は記入。 その他必要に応じて記入。
20	非常時危機管理対策	1、2 マニュアル類について、給食に関する項目が含まれている場合は「有」にチェック。 4 種類により備蓄量が異なる場合、もっとも標準的な状況を回答。 6 種類により保管場所が異なる場合、代表的なものを記入。
21	報告書作成者	本報告書を作成した者の所属・職名・氏名を記入。